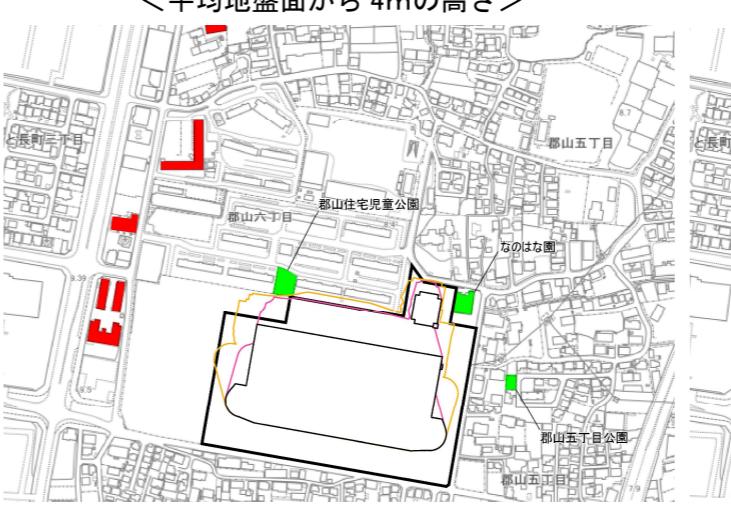


5) 予測結果概要（日照阻害：存在⑤）

変更前（評価書）	変更後
<p>予測結果</p> <p>■時刻別日影図</p>  <p><平均地盤面から 4mの高さ></p> <p><平均地盤面から 0mの高さ></p> <p>10時～13時は、北側はほとんどが敷地境界付近に留まる。 16時台には郡山五丁目付近まで日影が至り、計画地北東端から約280mの日影が発生する。</p> <p>地盤面から4mの予測結果に比べ、西側に約30m、北側に約25m、東側に約25m広がる。 周辺に分布する建物に日影がかからない時間帯は10時～13時。 郡山住宅児童公園では8時～9時台、郡山五丁目公園では16時台、なのはな園の建物に日影がかかる時間は15時～16時台。</p>	<p>予測結果</p> <p>■時刻別日影図</p>  <p><平均地盤面から 4mの高さ></p> <p>変更前（評価書）と比べて日影の最大範囲はほとんど変わらない。 倉庫本体の日影は、10時～13時の間、ほとんどが敷地境界付近に留まる。 自走式駐車場の日影は、西側から北側では8時～10時、13～15時までの時間帯で主に道路や駐車場に日影がかかる。 なのはな園には、変更前（評価書）と同程度の日影がかかると予測される。</p> <p><平均地盤面から 0mの高さ></p> <p>日影の規模は変更前（評価書）よりも約30m日影が短い。 倉庫本体の日影は、周辺の建物に日影が及ぶ時間は変更前（評価書）より1時間少ない。 自走式駐車場の日影についても周辺に分布する建物に日影が及ぶことはない。 配慮が必要な主要な施設（郡山住宅児童公園、郡山五丁目公園、なのはな園）に日影がかかる時間帯も変更前（評価書）と変わらないと予測される。</p>
<p>■等時間日影線</p>  <p><平均地盤面から 4mの高さ></p> <p>計画地北側は、5時間等日影線が敷地境界付近、3時間等日影線が仙台郡山住宅の中庭（敷地境界から10m）に日影がかかる。</p> <p><平均地盤面から 0mの高さ></p> <p>計画地北側は、5時間等日影線は仙台郡山住宅の中庭に、3時間等日影線は仙台郡山住宅の2棟の建物となのはな園の中庭の一部に日影がかかる。</p>	<p>■等時間日影線</p>  <p><平均地盤面から 4mの高さ></p> <p>3時間、5時間等日影線ともに東西方向は狭くなり、3時間等日影線は、なのはな園の中庭の一部にかかっていたが、からなくなると予測される。自走式駐車場の存在により3時間等日影線が計画地西側の道路に日影がかかる。 北方向の日影は、3時間等日影線が一部の道路にかかるが大部分は計画地内に収まることとなる。</p> <p><平均地盤面から 0mの高さ></p> <p>5時間等日影線は、新たに道路・駐車場に、3時間等日影線は新たになのはな園の中庭の一部にかかると予測される。 自走式駐車場の日影は周辺に分布する建物にかかるないと予測される。</p>

■ 高層建築物

■ 自然との触れ合いの場対象施設及び環境配慮の必要な施設（なのはな園）

5) 予測結果概要（温室効果ガス：工事中⑥）

変更前（評価書）		変更後																																			
予測方法 工事用車両・建設機械の稼働に伴う温室効果ガス排出量は日最大台数×稼働日数により算出し、セメント使用量に伴う温室効果ガス排出量はコンクリート部体積より算出する方法とした。		予測方法 工事用車両・建設機械の稼働に伴う温室効果ガス排出量は日最大台数×稼働日数により算出し、セメント使用量に伴う温室効果ガス排出量はコンクリート部体積より算出する方法とした。																																			
予測条件 ・予測対象時期：2025年11月～2027年8月 ・工事用車両・建設機械の稼働台数等の条件： 工事車両に係る予測条件 建設機械に係る予測条件：25日/月、8h/日稼働		予測条件 ・予測対象時期：2026年5月～2028年7月 ・工事用車両・建設機械の稼働台数等の条件 工事車両に係る予測条件：変更なし 建設機械に係る予測条件：20日/月、8h/日稼働																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①稼働日数(日)</td> <td>ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)</td> <td>75 75 500 51</td> </tr> <tr> <td>②燃料使用量原単位(L/h)</td> <td>ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)</td> <td>12 11 18 78</td> </tr> <tr> <td>①日稼働時間(h/日)</td> <td>ブルドーザー(9t級)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量(L)</td> <td>バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)</td> <td>7,200 6,600 72,000 31,824</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>117,624</td> </tr> </tbody> </table>		項目	設定値	①稼働日数(日)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	75 75 500 51	②燃料使用量原単位(L/h)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	12 11 18 78	①日稼働時間(h/日)	ブルドーザー(9t級)	8	燃料使用量(L)	バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	7,200 6,600 72,000 31,824		計	117,624	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①稼働日数(日)</td> <td>ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)</td> <td>220 220 640 51</td> </tr> <tr> <td>②燃料使用量原単位(L/h)</td> <td>ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)</td> <td>12 12 18 78</td> </tr> <tr> <td>②日稼働時間(h/日)</td> <td>ブルドーザー(9t級)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量(L)</td> <td>バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)</td> <td>21,120 19,360 92,160 31,824</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>164,464</td> </tr> </tbody> </table>		項目	設定値	①稼働日数(日)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	220 220 640 51	②燃料使用量原単位(L/h)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	12 12 18 78	②日稼働時間(h/日)	ブルドーザー(9t級)	8	燃料使用量(L)	バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	21,120 19,360 92,160 31,824		計	164,464
項目	設定値																																				
①稼働日数(日)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	75 75 500 51																																			
②燃料使用量原単位(L/h)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	12 11 18 78																																			
①日稼働時間(h/日)	ブルドーザー(9t級)	8																																			
燃料使用量(L)	バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	7,200 6,600 72,000 31,824																																			
	計	117,624																																			
項目	設定値																																				
①稼働日数(日)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	220 220 640 51																																			
②燃料使用量原単位(L/h)	ブルドーザー(9t級) バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	12 12 18 78																																			
②日稼働時間(h/日)	ブルドーザー(9t級)	8																																			
燃料使用量(L)	バックホウ(クローラ型) クローラクレーン(100t級) アースオーガー(320～450mm)	21,120 19,360 92,160 31,824																																			
	計	164,464																																			
・セメント使用量に係る予測条件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート使用量(m³)</td> <td>床面 腰壁 基礎杭 合計</td> <td>30,000 766 522 31,288</td> </tr> <tr> <td>コンクリートの単位体積当たりセメント使用量(kg/m³)</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>排出係数(tCO₂/t)</td> <td>0.515</td> <td>0.515</td> </tr> </tbody> </table>		項目	設定値	コンクリート使用量(m³)	床面 腰壁 基礎杭 合計	30,000 766 522 31,288	コンクリートの単位体積当たりセメント使用量(kg/m³)	350	350	排出係数(tCO₂/t)	0.515	0.515	・セメント使用量に係る予測条件：床面積に変更あり <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート使用量(m³)</td> <td>床面 腰壁 基礎杭 合計</td> <td>26,500 766 522 27,788</td> </tr> <tr> <td>コンクリートの単位体積当たりセメント使用量(kg/m³)</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>排出係数(tCO₂/t)</td> <td>0.515</td> <td>0.515</td> </tr> </tbody> </table>		項目	設定値	コンクリート使用量(m³)	床面 腰壁 基礎杭 合計	26,500 766 522 27,788	コンクリートの単位体積当たりセメント使用量(kg/m³)	350	350	排出係数(tCO₂/t)	0.515	0.515												
項目	設定値																																				
コンクリート使用量(m³)	床面 腰壁 基礎杭 合計	30,000 766 522 31,288																																			
コンクリートの単位体積当たりセメント使用量(kg/m³)	350	350																																			
排出係数(tCO₂/t)	0.515	0.515																																			
項目	設定値																																				
コンクリート使用量(m³)	床面 腰壁 基礎杭 合計	26,500 766 522 27,788																																			
コンクリートの単位体積当たりセメント使用量(kg/m³)	350	350																																			
排出係数(tCO₂/t)	0.515	0.515																																			
予測結果 工事期間全体のエネルギー使用量は38,565GJ、温室効果ガス排出量は8,298tCO₂と予測される。		予測結果 工事期間全体のエネルギー使用量は40,345GJ、温室効果ガス排出量は7,791tCO₂と予測される。 変更前（評価書）からの変化量は、工事期間全体のエネルギー使用量が1,780GJ増加するものの、温室効果ガス排出量は507tCO₂減少するものと予測される。																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">変更前（評価書）</th> </tr> <tr> <th>エネルギー使用量(GJ)</th> <th>温室効果ガス排出量(tCO₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用車両による燃料の使用</td> <td>34,095</td> <td>2,350</td> </tr> <tr> <td>建設機械による燃料の使用</td> <td>4,470</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>セメントの使用(計画建築物の建築)</td> <td>—</td> <td>5,640</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38,565</td> <td>8,298</td> </tr> </tbody> </table>		区分	変更前（評価書）		エネルギー使用量(GJ)	温室効果ガス排出量(tCO₂)	工事用車両による燃料の使用	34,095	2,350	建設機械による燃料の使用	4,470	308	セメントの使用(計画建築物の建築)	—	5,640	合計	38,565	8,298	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>エネルギー使用量(GJ)</th> <th>温室効果ガス排出量(tCO₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用車両による燃料の使用</td> <td>34,095</td> <td>2,350</td> </tr> <tr> <td>建設機械による燃料の使用</td> <td>6,250</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>セメントの使用(計画建築物の建築)</td> <td>—</td> <td>5,010</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40,345</td> <td>7,791</td> </tr> </tbody> </table>		区分	変更後		エネルギー使用量(GJ)	温室効果ガス排出量(tCO₂)	工事用車両による燃料の使用	34,095	2,350	建設機械による燃料の使用	6,250	431	セメントの使用(計画建築物の建築)	—	5,010	合計	40,345	7,791
区分	変更前（評価書）																																				
	エネルギー使用量(GJ)	温室効果ガス排出量(tCO₂)																																			
工事用車両による燃料の使用	34,095	2,350																																			
建設機械による燃料の使用	4,470	308																																			
セメントの使用(計画建築物の建築)	—	5,640																																			
合計	38,565	8,298																																			
区分	変更後																																				
	エネルギー使用量(GJ)	温室効果ガス排出量(tCO₂)																																			
工事用車両による燃料の使用	34,095	2,350																																			
建設機械による燃料の使用	6,250	431																																			
セメントの使用(計画建築物の建築)	—	5,010																																			
合計	40,345	7,791																																			